

創造・誇り・愛！ 輝く七中 <sup>きら</sup> 煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 大神田佳明

学校だより

第1号

平成31年4月10日



# とらのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>

## 新年度を迎えて

校長 大神田 佳明

3月末から開花した桜は、始業式に合わせたように満開となりました。4月9日に第42回入学式を行い151名の新入生が入学しました。平成31年度は、1学年5学級、2学年4学級、3学年5学級の全14学級、生徒数473名で教育活動が始まりました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級を心からお祝い申し上げます。

さて、今年度から立川市立小・中学校の全校でコミュニティスクール（地域運営学校）が始まります。この制度により、学校と保護者や地域の皆様が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、一緒に連携・協働しながら生徒の成長を支え、地域とともにある、特色ある学校づくりを進めます。また、平成31年度は、新学習指導要領への移行2年目に入り、中学校では、特別の教科道徳の実施をはじめ、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、全ての教科や領域で、授業改善に取り組みます。今年度は、七中の教育目標を具現化するために、次の内容を重点目標として教育活動に取り組んでまいります。

### ◎「深く考え、すすんで学ぶ」

基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けさせるとともに、知識や技能を活用して課題を解決する学習や体験的な学習を充実させ、思考力・表現力・判断力等をバランスよく育む学習指導に取り組みます。さらに、生徒が自分の考えをもち、表現できる力をすべての教科等で育成します。判断の根拠や理由を示しながら、自分の考えを表現できる力（クリティカルな考え）を身に付けるため、教科の授業や総合的な学習の時間、「とちの葉タイム」を充実させていきます。

学習を効果的に行うために、既に導入された、タブレットパソコンやデジタル教科書を活用して、生徒の学習意欲の向上や主体的な学びを育み、生徒一人一人が、「わかった」「できるようになった」という達成感や自己肯定感が得られる授業を目指します。また、学習機会の拡充や補充的な学習を充実させるために、水曜学習教室、定期考査前の「学問所」、夏休みの学習教室、スタディーアシスト事業（東京都）、や家庭学習、自主学習等の充実を図ってまいります。

### ◎「温かく思いやり、正しく行う」

今年度も人権を大切にする生徒の育成、生徒の人権を守り大切にする学校づくりを柱として、全教育活動を通して人権教育を推進します。いじめや差別を許さない学校を築くために、いじめが起これない人間関係づくりとともに、いじめの解決に向けて勇気をもって行動できる生徒の育成を目指します。「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえて、考える道徳、議論する道徳の授業を通して、生徒が主体的に思いやりをもって社会に関わる意識や態度を育成します。さらに、授業や学校行事において、自他を尊重し認め合う態度を育てることを通して、自尊感情や自己肯定感を育ててまいります。さらに、生徒一人一人の違いを尊重し、教育のユニバーサルデザインに視点を置き、教室環境の整備、学級づくり、生徒指導など、多様な教育的ニーズに応じた教育を推進します。

### ◎「たくましく鍛え、自ら創る」

東京都の「東京オリンピック・パラリンピック教育」の取組を通して、生徒の興味・関心に応じて、オリンピック・パラリンピックに何らかの形で関わり、価値や意義を学ぶとともに、実際に体験や活動することを通じて学びを深めていきます。また、スポーツテストの結果を踏まえて、3年間を見据えて体力や運動能力の向上を図ってまいります。



入学式（新入生誓いの言葉）